

VI 子ども議員・サポーターの声

平成 29 年度札幌市子ども議会に参加してくれた子ども議員とサポーターの皆さんに、子ども議会に参加して感じた意見や感想をお聞きしましたので、その一部を紹介します。

1. 子ども議員の声

- なかなか話すことのない中学生、高校生と話し合いができて、とても楽しかった。札幌の問題について知ることができてよかった。
- サポーターの方や札幌市の職員の方、自分より上の学年の人など、頼りになる人がいて安心して意見を言えました。そして、直接市長に答弁してもらおうという貴重な体験、知らない人との交流など、子ども議会からいろいろと得るものがあったので、次回も参加したいと思います。
- 次は、市長さんに資料を渡す役をやってみたいです。それと、積極的に委員会で意見交換できるようになりたいです。
- 札幌市のほかの仕事も知りたいです。
- 3回目の参加でしたが、毎回新たな課題があり、札幌市は多くの課題を持っているんだと感じました。そして、その課題の解決に自分が関わっていると思うと、とても嬉しいですし、少しでも自分がやったことが課題解決のカギになればもっとよいなと思いました。自分が提案したものが実現されることを願います！！
- 市で行われている防災についてよく知ることができて、勉強になりました。
- 話し合いが難しくなってきたとしても、サポーターの方が入ってくれるので、わかりやすく楽しく参加することができました。もう少し時間があればよかったと思いました。
- 職員さんによって決められるものが増えてきていて、子どもが市のことについて考える場というより、学校の宿題をやっているようで、あまり自由があるとは思えませんでした。この子ども議会は、私たち子どもにとって自分の意見を直接市に伝えることのできる唯一の場だと考えています。来年度の議会はもっと有意義なものになることを願っています。
- 話し合いが多かったので、見たり触ったり、体験できることを増やしてほしいです。
- 直接的に目に見える何かへと結びつく取組があったらすてきだと思います。「まちづくり」、「子どもの権利」というのも上辺だけではなくなると思います。

2. サポーターの声

- 子どもたちと一緒に活動して、とても楽しかったです。ぜひまた機会があれば参加させていただきたいです。
- まちづくりに関わることができたことや、子ども議員をサポートすることができたことは誇りに思います。全体を通して有意義な経験となりました。
- 札幌の多くの優秀な子どもたちが、活発に議論している姿を見て、感心しました。自分も子どもの頃に子ども議員として参加していたら、きっと人生よい方向に変わったと思います。
- 教職志望として、小・中・高校生が交わった中で関われる貴重な機会だと思ったので、今回子ども議会に参加しました。同じように考える人はたくさんいると思うので、子ども議会の認知度を高めるためにも、議会の様子だけでなく、委員会の活動の様子を公表したり、大学に活動内容をまとめたプリントを掲示したりすると、興味のある学生が参加してくれるのではないかと思います。

